



No.151

平成27年12月11日

議会広報

いえそん



▲総務常任委員会所管事務調査

▲経済・公営企業常任委員会所管事務調査

- ◆平成26年度決算……………P2
- ◆決算審査特別委員会……………P4
- ◆平成26年度決算審査意見書……………P5
- ◆一般質問……………P6
- ◆議案結果……………P13
- ◆議長南米視察報告……………P14

- ◆全国離島振興市町村議会議長会・要望決議書・研修報告・P16
- ◆経済・公営企業常任委員会所管事務調査……………P17
- ◆総務常任委員会所管事務調査……………P18
- ◆議会の活動……………P19
- ◆題字提供はこの方……………P20



議会広報

第151号
平成27年12月11日

発行／伊江村議会
〒905-0592 沖縄県伊江村宇嘉東江前38
TEL:0980-49-2924
編集・印刷／(有)サンエス
TEL:098-889-7421



▲題字を書いていただいた渡久地 ツルさん(川平区 ティンガーマン屋)

題字執筆者紹介

渡久地ツルさん(大正3年1月5日生まれ102歳)
歌を歌ったり、人とのお喋りが大好きで、いつもニコニコ皆を和ませ、ツルさんの周りには人が集まり、笑顔が絶えません。一生懸命何回も練習し、頑張って書きました。みなさん見てくださいね。



▲笑顔のかわいいツルさん

どうぞ 傍聴席へ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



TEL 0980-49-2924(直通)

編集後記

今回は、総務常任委員会が熊本、大阪、兵庫と伊江島空港の定期便の運行と離島の教育、人材育成をテーマに、経済・公営企業常任委員会が福岡、宮崎に、更なる産業の向上をテーマに先進地を視察し多くの事を学んできた。今後、村の発展の為に活かしていきたいと思います。

また、皆さんに興味を持って読んでいただけるような広報誌を目指し、広報委員一同務めていきたいと思います。

伊江村議会事務局 知念一史

平成27年 第7回 9月定例会

2億144万円の黒字決算(一般会計)

平成26年度決算 6会計を認定

歳出60億511万円

歳入62億655万円

平成27年第7回(9月)定例会を、9月14日～16日までの3日間の会期で開きました。

本定例会では、平成26年度各会計の決算認定や平成27年度一般会計及び特別会計補正予算案等21議案を審議しました。(審議結果は12ページをご覧ください。)

また、開会初日には一般質問が行われ、7人の議員が村の対応や考え方を問いました。



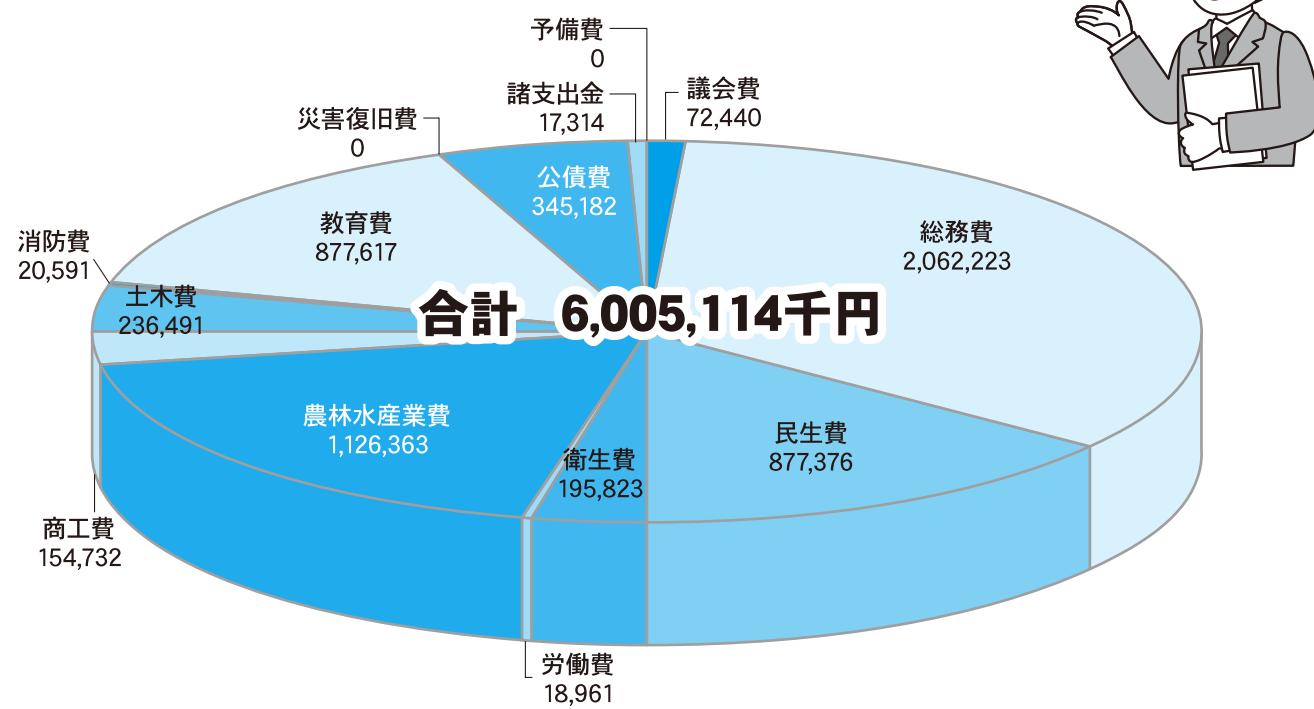
平成26年度 会計別決算状況

単位:千円

会計名	決算額	
	歳入(収入)	歳出(支出)
特別会計	6,206,557	6,005,114
	診療所	305,972
	国民健康保険	987,343
	後期高齢者医療	66,815
	水道事業	175,090
	船舶運航事業	757,422

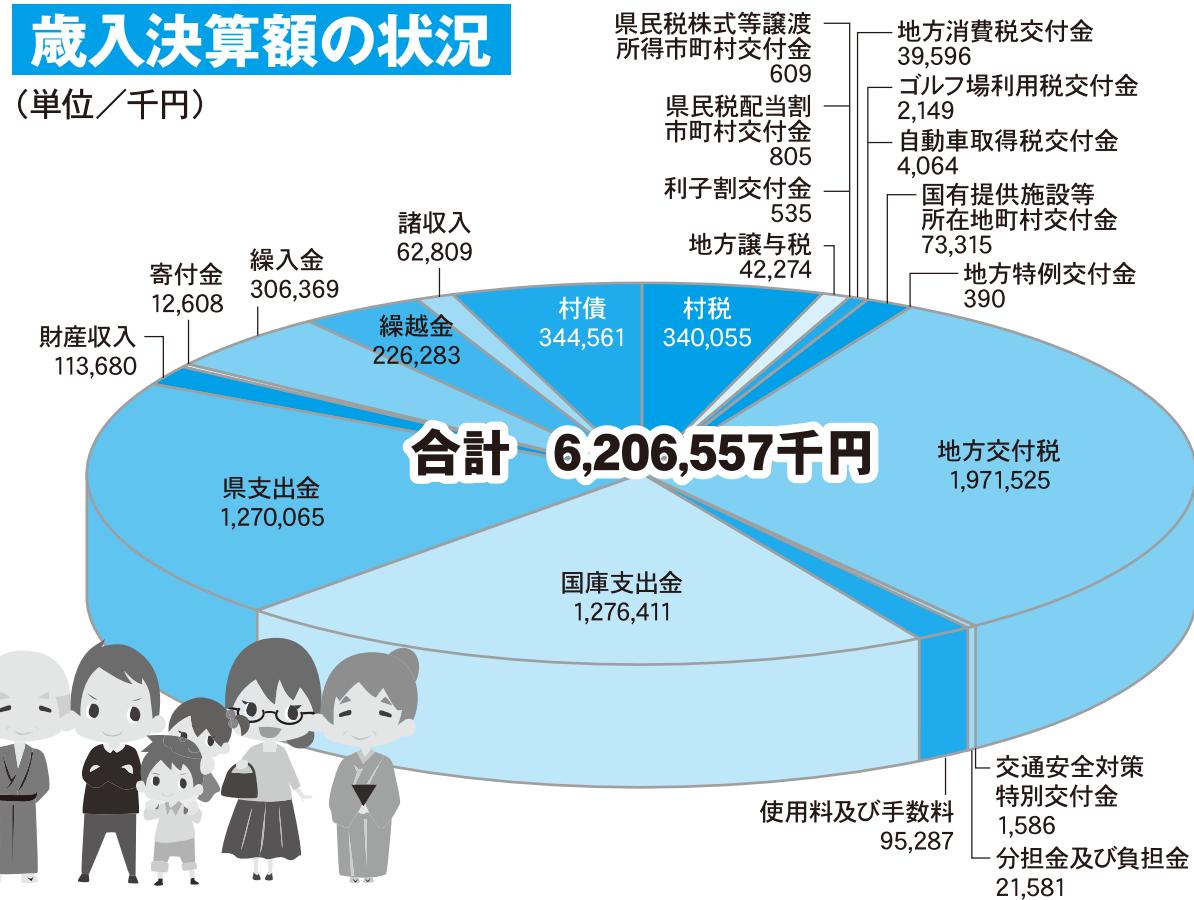
目的別歳出決算額の状況

(単位／千円)



歳入決算額の状況

(単位／千円)



平成26年度 決算審査意見書

伊江村監査委員 伊江村代表監査委員 具志川 豊秀 伊江村議選監査委員 亀里 敏郎

一般会計

本村の財政状況は、ほぼ健全に運営されており、積極的な行政施策の成果は年々住民福祉の向上に繋がっているものと想定する。予定されていた事業が計画どおりに執行され一定の成果を納めたことは評価できる。

今後の課題としては、経常収支比率の改善に心掛け弾力的に健全性を保持しつつ、かつ、積極的姿勢が失われることのないよう、さらに努力を積まれ、また予算や事業の執行にあたっては、長の政策の基に職員間の連携を密にし、村の振興発展に尽くされるように強く望むものである。

国保健康保険特別会計

総体的に見て財源の厳しい中で財政運営を維持し国保対象者2,274人(一般・2,231人、退職43人)の健康維持に果たす役割は大である。

国民健康保険税で1,901万8,647円(321件)の収入未済額がありその内訳は過年度1,377万7,847円(239件)、現年度分524万800円(82件)となっている。不納欠損額が78万6千500円(3件)ある。滞納額、不納欠損額とも前年度から増加しており今後とも微収業務に尚一層の取り組みを望むものである。



水道事業会計

水道事業会計は自然条件(降水量)によって大きく左右され、自己水源の多くを占めるのが湧出水源であるが、同水源は前年の89,051m³から当年度は97,336m³で8,285m³(9.3%)の増加となったが、降雨量によるものと思慮される。

また、無効水量は依然として高い数値で推移しており、前年度の94,752m³から当年度は80,902m³で、前年度比14.6%の減となっている。無効水量は、村全体で使用する水量の約43日分相当の上水が失われたことになる。漏水対策は今後の大変な課題で、政策的にも老朽管の早急な改修対策を講じるとともに、その他の原因についても究明する必要がある。

今後とも安全で安心良質な水を安定供給できるように施設の維持管理に万全を期し、特に漏水防止対策を強化して、無効水(率)の改善に尚一層努力し健全経営を図るよう切望する。



診療所特別会計

ここ近年外来患者数も増え、地域に密着した医療が提供されていると思われる。

村政の長年の懸案事項であった人工透析が診療開始され、今後ますます村民の診療所への期待は増大するものと思われる。今後は診療所と人工透析センターとの連携強化に努め今後とも経費の節減に努め施設や医療機器を活かし村民の疾病予防の強化を図り村民の健康管理に尚一層の取組を望むものである。

後期高齢者医療特別会計

高齢者の医療の確保に関する法律による医療制度で75歳以上の方と一定の障害のある65歳以上の方が対象の医療制度となっている。歳入については後期高齢者医療保険料(6.95%)一般会計繰入金(25.8%)等で、歳出は総務費(2.4%)と後期高齢者医療広域連合納付金(97.6%)となっている。



船舶運航事業会計

乗客数は、2年前から始まった沖縄県離島住民運賃割引事業も相まって堅調に推移している。

今後とも関係機関等と連携を密にし、これまで継続してきた誘客対策を強力に取組み、島外からの入客増を図るよう切望する。

現下の厳しい経済状況の下、さらには将来の利用ニーズの変化、燃油の高騰など予測しがたい課題はあるが、船舶運航事業は全体に良好な事業運営がなされていると想定され、職員・船員及び関係者の努力によるものであり評価できる。フェリー「いえしま」の就航は、利用者に喜ばれているが、一方「ぐすく」は老朽化しており早期の代船建造に着手すべきだと思われ、当局の迅速な対応を望むものである。

これからも適正な運営計画と財政計画のもと旅客及び車両航送の利用状況を的確に判断して、船舶運航事業の健全運営と村民の足としてのサービス向上と安全運航に取り組まれ一層の研鑽を要望します。

決算審査特別委員会質疑

産業廃棄物処理場に建築廃材の積まれているが、今後、積まれて、産業廃棄物処分場についでいるコンクリート片について、どうする予定なのか。

原則、コンクリート殻につきましては、産業廃棄物処分場で処理できるようになります。

また、コンクリート殻をスサカ処分場で、破碎処理をして、それ

をまた使つたりして、ということ

で、対応させてもらつて、この角度で処理ができるのかどう

す。今、検討しているところ

を、今、検討しているところ

議会広報 

問 3月にも質問しましたが、伊江村において終末処理場とも言われる下水処理場は、海のこれ以上の汚染防止のため、子や孫の将来のために本来あるべき豊かな海を取り戻すために、殺菌された水を海に帰す下水処理場は、次の一 点で必要不可欠な施設だと思いますがどうか。

現在の状況において、単独処理層の家庭排水はそのまま海に流れています。また、村が苦肉の策だとは思いますが、勧めている合併処理層も普及には何年もかかりますし、実際は村も御存じのように、10年ほどで劣化が始まります。本来、補修が必要になりますので普及した頃には、最初の合併処理層は取り替えが必要になります。網焼きの取り替えですね。それは村で

ではなく村民負担となると思いません。
合併処理層では仮に感染症などに汚染された水は、殺菌はされずそのまま海に流れます。下水処理場がないと言うことは、村の人口減少の一因だと思います。一つ目はホテル、アパート、民宿などの宿泊施設や飲食店、老人ホーム、企業等の建設や誘致が浄化槽の設備代、維持管理費が膨大な金額になるためネックになつてている状態です。

二つ目に環境に対する観光のイメージです。現に城山のまえの白い建物は耐震構造については建て直し補修が可能だが、下水処理場がなく浄化槽処理だと観光のイメージが悪いと言うことで、村も御存じだと思いますが、県外業者が建てか

たが、伊江村のビーチは瓦れきが多く、特に大潮の干潮時は泳げる状態とは言えず、ビーチとは名ばかりとの声がビーチ売店や、タクシー運転手に寄せられています。また観光客からは指定以外でも良いので別のビーチがあるはずだと言われます。しかし村指定以外は危険で禁止ということで、担当する役場に問い合わせるように伊江島交通では指示を出したようです。

他、村外のビーチ観光客がいっぱいになる夏に、観光客のは減少のある村施設の改善には、ビーチの海中のサンゴ、貝の養殖の出来る消波ブロック、人工島を含めたヨットハーバー計画などと同時に、若者の働き場所の確保も必要だと思います。村としても人口減対策の一つ

答 考えをお聞きしたい。 村では、伊江ビーチの利用者が快適に過ごせるよう、人力、ビーチクリーナーによる瓦れきの除れきや大型機械を利用し、砂を海に屋すなど、様々な方法を試してきました。 議員お説の瓦れきが多く、特に大潮の干潮時は、泳げる状態とはいえない、と観光客から苦言が寄せられていますが、伊江ビーチでは現在、定期的にビーチクリーンを行つており、今年の5月には、大潮で干上がった海底のサンゴれきを回収しました。その効果からか砂地が大分戻っているように思います。 また、大潮の干潮時には、村外のビーチでも遊泳は出来ない状況だと聞いています。伊江

りやサンゴ礁、色鮮やかな魚の群れの観察など、自然体験の良い機会と捉えていただけだと思います。

人工ビーチ化につきましては、これまで本議会に多くの議員の皆さんから御質問を受けています。去った3月定例議会では、仲宗根議員から参考資料をいただきており、その提言も参考に離島のビーチとして、自然環境に配慮した、小規模な改良等については、検討していくたいと考えております。

しかしながら、人工島を含めたヨットハーバーの整備についての構想や計画は、現在持ち合わせておりませんが、今後多くの皆さんの意見を聞きながら、ビーチ周辺の整備、あるいは運営について検討していくたいと思っております。

1. 伊江村における必要性について

ト水処理場の 何宗根 清夫 講員

2. 伊江村のビーチ整備について

思が 村の意見を伺いたい
— 士対策として 各地域や沿岸沿

えを断念したいきさつがあります。伊江村に帰島して30年余りになりますが、当時の村当局に「このままでは海が死んでしまいう」と直訴しましたが、こんな大きな海が汚れるわけはない」と一蹴されました。が、東日本大震災の汚染物が簡単に世界を回るのであります。まず身近な地元の海を汚染から守り、民家体験泊事業の好調なうちに、それ以外の若者が正規で働ける職場も必要です。その確保のためにも下水処理場は必要不可欠でござります。

今後、伊江村の下水処理対策は、いろいろな処理施設を検討する時期に来ていると考え、現在沖縄県が制定している「沖縄汚水再生ちゅら水プラン計画」に、農業集落排水施設下水処理施設合併処理施設を位置づけながら、今後村民コンセンサスを得られる事業計画を検討していくと考えております。

いに浸透池を設置し対策を講じながら、具志排水路から流れる雑排水は具志排水浄化施設と浸透池の水質改善を行い、海の環境保全に努めてまいりました。しかししながら、家庭雑排水の抜本的対策は、下水処理施設での処理方法が重要と考え、今後沖縄県や関係機関と調整を行い検討していくますが、その事業実施には長期間を要することから、単独浄化槽の転換設置事業もあわせて推進し、良好な居住環境作りに努めてまいります。

平成21年4月1日に、村有形民俗文化財に指定されたアミボーシャ（アミブランシヤ）は、ご承知通り雨乞い祈願の祭祀所です。古くから村の偉いさん達が、干ばつになるとアマギに行つて雨乞いをいたしました。

その帰り道、大雨が降つてずぶ濡れになつて帰つたとの伝えがあります。一昨年、現島袋村長はじめ関係者で、アミボーシャで雨乞い祈願した。その数日後に御利益があつて、雨が降つたと聞きます。

先般、西崎区在住の有志の方から、アミボーシャについての話があり、現場近くまで案内されました。そこは雑木・雜草が身の丈まで繁茂していて、踏み込んで確認する勇気はありませんでした。

村有形民俗文化財として

は、余りにも粗放であり驚愕しているところでございま
す。また、村は有形民俗文化財に、マーガ・阿良御嶽・ミンカ
ザントウ・アミボーシヤの4カ所を指定して、アミボーシ
ヤ以外の3カ所には、説明表示板が設置されています
が、アミボーシヤでは、確認することができませんでした。
村文化財保護条例6条1で有形文化財の所有者は、村指
定有形文化財を、管理しなければならないと定めてあるこ
とは、承知していますが、村の特段の御配慮をもって、アミ
ボーシヤへの旧道の復元と、周辺の雑木・雑草を定期に刈
り取つて、雨乞い祈願の神聖な祭祀所があると、村民が一
目瞭然できる場所にするごとに、あわせて説明板の設置を

既に堆肥状態になつた原料に、雑草が繁茂し、小山をして点在していて、周りの景観を損ねております。

夕日とロマンのフラワー アイランドを標榜する、村の思惑には程遠い調和しない光景であり、残念でなりません。なお、中飛行場南端には貯水池2基があり将来、水質に影響が出るのではないかと、危惧をしています。このことによつて、堆肥原料の処理環境は、格段と向上していることは、衆目の一一致するところでもございま

す。

堆肥センターを、最大限に有効活用する上からも、行政の強い指導力をもつて、国有地に置かれた、堆肥原料が堆

答 光客や村民が癒される壮大なロードに変貌させてはと切望するが村の意見を伺いたい。国有地（通称「中飛行場」）の両側におかれた堆肥原料の処理については、以前にも寺前1号貯水池の水質悪化の懸念等から撤去の呼びかけを行つた経緯があります。現状も議員お説のとおり、大量の堆肥原料が野積みされており、環境景観を損ね、貯水池の水質悪化が懸念されます。

国有地（通称中飛行場）沿いへの花木の植栽については、提供施設であることから、一時共同使用の日米合同委員会の合意が必要条件であることから、高い障壁があるものと考えております。

また、中飛行場は本村の高台に位置し、季節風が強く花木の生育も大変厳しい場所であり、植栽花木の選定も充分検討する必要があるものと肥料をいたしております。

いずれにしましても、中飛行場の堆肥原料の野積みについては、農業用水、環境衛生へ配慮し、置かれている農家へ撤去処理の呼びかけを行い、花木の植栽については、大変厳しい事案ではありますが、関係機関と調整を行いたいと考えております。

1. アミボーシャ(アミプランシャ)への 用途の変化(「開拓」篇)

ラシャへの 登場

アミボージャへの旧道の復元についてですが、現在、アミボーシヤへの進入路は、個人有地を利用してあります。以前利用していた南側は、途中まで里道があるものの、その先は大きな木が茂つており、伐採していく

う恐れがあり、困難な状況であると考えます。ゆえに、現在利用している個人有地からの進入路を所有者と協議し整備していくかないと考えております。

にあります。今後は教育委員会といたしましても、定期的に見回りを行い、雑草・雑木の刈り取りを行う方向で、地主の方と調整を行つており、説明板の設置についても所有者と協議し、説明板の設置が出来るよう取り組んで行きたいと考えております。

議決の結果

平成27年第7回定例会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
諮詢第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	村長	9月15日	適任
諮詢第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	村長	9月15日	適任
報告第9号	平成26年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告書の提出について	村長	9月15日	報告
報告第10号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	村長	9月15日	報告
報告第11号	伊江小学校校庭整備工事の専決処分の報告について	村長	9月15日	報告
議案第68号	平成27年度伊江村一般会計補正予算(第4号)	村長	9月15日	原案可決
議案第69号	平成27年度伊江村診療所特別会計補正予算(第3号)	村長	9月15日	原案可決
議案第70号	伊江村特定個人情報保護条例の制定について	村長	9月15日	原案可決
議案第71号	伊江村手数料条例の一部を改正する条例の制定について	村長	9月15日	原案可決
議案第72号	伊江村子育て支援金に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	9月15日	原案可決
議案第73号	伊江村具志原貝塚等整備検討委員会設置条例の制定について	村長	9月15日	原案可決
議案第74号	村民レク広場備品購入事業(5連フェアウェイモア)の契約について	村長	9月15日	原案可決
議案第75号	村民レク広場備品購入事業(乗用カート)の契約について	村長	9月15日	原案可決
議案第76号	外科用X線装置購入の契約について	村長	9月15日	原案可決
議案第77号	西崎漁港防波堤整備工事の請負契約について	村長	9月15日	原案可決
認定第1号	平成26年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定について	村長	9月16日	認定
認定第2号	平成26年度伊江村診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	村長	9月16日	認定
認定第3号	平成26年度伊江村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	村長	9月16日	認定
認定第4号	平成26年度伊江村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	村長	9月16日	認定
認定第5号	平成26年度伊江村水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	村長	9月16日	認定
認定第6号	平成26年度伊江村船舶運航事業会計利益の処分及び決算の認定について	村長	9月16日	認定
議員提出議案第1号	伊江村議会会議規則の一部を改正する規則	議員	9月16日	原案可決
陳情書第1号	県産品の優先使用について	県工業連合他	9月16日	原案採択

議決の結果

平成27年第8回臨時会

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
報告第12号	伊江小学校太陽光発電設置工事の専決処分の報告について	村長	11月30日	原案報告
報告第13号	伊江漁協製氷施設改築工事(建築)の専決処分の報告について	村長	11月30日	原案報告
報告第14号	伊江漁協製氷施設改築工事(製氷・冷凍冷蔵設備)の専決処分の報告について	村長	11月30日	原案報告
議案第78号	伊江村製氷施設設置及び管理条例の制定について	村長	11月30日	原案可決
議案第79号	伊江村製氷施設の指定管理者の指定について	村長	11月30日	原案可決
議案第80号	農作物緊急灌水車両整備事業(車両購入)の契約について	村長	11月30日	原案可決
議案第81号	平成27年度伊江村一般会計補正予算(第5号)	村長	11月30日	原案可決

U.S.J.の沖縄進出については、いま村民の最大の関心事であります。その進出候補地として、国営海洋博公園が有力視されており、政府として全面支援を明言している菅官房長官や山口沖縄担当相も現地視察に訪れております。その中、去る9月1日の新聞報道に「2016年度沖縄振興予算、内閣府概算要求」の、主な事業紹介の中、「U.S.J.調査に1億2,400万円」要求とあります。いよいよU.S.J.沖縄進出も現実味を帯びてきました。

このような状況を踏まえ村当局として、今後どのように

1. ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) の沖縄進出について

村長／的確な情報収集をして取り組んでいきたい

取

たい

村政の ここを問う! 9月定例会 一般質問

山城 善彦 議員



うな取り組みを考えている
かお伺いしたい。

答 大阪のテーマパーク、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)の沖縄進出がにわかに現実味を帯び、名護市や本部町がその候補地として浮上していることは、議員お説のとおりであります。

U.S.J側は、立地場所を明言しておりませんが、仮に本部町へ誘致されれば、美ら海水族館とのコラボで、北部地域の観光誘客数は飛躍的な伸びとともに、交通量の増大による渋滞は明らかであり、道路網の拡充はもとより、現地までの多様なアクセスルートの整

パークが200万人、水族館が420万人となつておなりまして、2014年度の沖縄美ら海水族館の入場者が323万人ということがで、約倍になります。U.S.I.関係者によると9月下旬に県に事業計画を提示する方向といふうになつておりますまして、このようなビッグプロジェクトでありますので、これは近隣市町村への波及効果は、はかりしれないものがあると思います。

また、今回の利用者目標の620万人は、逆に現在の美ら海の利用者の320万人の倍ということで、やはり現在の陸路での会場へのアクセスは、不可能ということでありまして、那覇空港から海洋博公園までの新たなアクセスルートが今後必要になつてくるかと思ひます。それは陸路でありと海路であり、空路であります。それが伊江島には、北部にある唯一の民間空港がありますので、そこをぜひ定期便の就航ということです。民間空港は、昭和50年の海洋博のときに、開港されておりますけれども、わずか2年ぐらい利用をして、あとはずっと定期便の就航



はないような状況でありますので、今回のこのU.S.Iの進出というのは、本当に伊江島にとつて、定期便の就航に繋げる、千載一遇のチャンスです。ぜひ実現できるように、海路で会場へ直接行くという形の高速船の就航についても考え方を伺いたい。

あくまでもこの海洋博記念公園への進出ということで、先ほど議員からもありましたが、千載一遇のチャンスであり、伊江島や北部も当然そうですが、空港を抱えている伊江村にとって、非常な追い風の時代に入つていくのかなというふうには思つておりますが、一喜一憂せず、しっかりとその辺の的確な情報収集をして取り組んでいきたいと思っております。

経済・公営企業常任委員所管事務調査 研修報告

平成27年11月10日より13日の日程にて、経・公委員5名、行政から2名、事務局1名で、村の産業振興に資することを目的とし、福岡県、宮崎県の先進地調査を行った。福岡県八女市にて「輪ギク生産の状況」、宮崎県綾町にて「キャトルセンター(子牛保育)」の取組み。JA中央宮崎において「園芸作物(新規農家育成)」への取り組み、都城市にて「牛温恵実施農家」との意見交換、「ふれあいの丘(体験農場)」の視察等、有意義な調査となり今後の委員活動、議員の施策提言の参考として取組んでいきたい。

11月11日

JAふくおか八女にて生産状況、出荷状況を視察



11月11日

JA綾キャトルセンターにて現場状況を視察



11月12日

宮崎県生目の杜運動公園人工芝コートを視察(サッカー)



11月12日

JA宮崎中央高岡にて、きゅうりの生産状況、
新規農家育成研修事業の状況視察

11月12日

JA都城にて牛温恵導入農家視察



11月12日

都城ふれあいの丘にて、乗馬体験施設視察



▲離島振興市町村議会議長全国大会において要望決議書を読み上げる島袋議長



▲要望決議書を島尻安伊子沖縄・北方担当大臣へ手渡す島袋議長

- 一 離島振興の促進を期する
- 一 新たな離島振興への対応を期する
- 一 離島市町村財政の強化を期する
- 一 離島振興関係事業の促進を期する
- 一 離島の産業対策の推進を期する
- 一 離島の交通対策の強化を期する
- 一 離島の通信対策の強化を期する

- 一 離島の医療対策の強化を期する
- 一 離島の子育て・高齢者対策の充実を期する
- 一 離島の教育・文化の振興を期する
- 一 離島の環境対策の推進を期する
- 一 離島のエネルギー対策の推進を期する
- 一 離島の防災対策の強化を期する
- 一 東日本大震災からの復興を期する

以上、決議する。

平成27年11月10日

第34回離島振興市町村議会議長全国大会

研修報告 議会力・議員力の向上を図る 町村議会議員・事務局職員研修会(全議員・事務局)

H27.10.28

町村議会議員・事務局職員研修会が糸満市のNBCサムシングフォーウェイ西崎において開催され、日本自治学会等に所属する高沖秀宣氏による「二次元代表制における議会革命のあり方」について講義が行われた。地方創生における議会・議員の役割の重要性を再確認する有意義な講演であった。



▲町村議会研修



▲高沖氏による講演



▲町村議会研修

議会の活動

平成27年9月

- 9日: 議会運営委員会・全員協議会
- 10日: 第39回北部地区畜産共進会(議長・経・公委員)
- 10日: 葉たばこ売買視察(全議)
- 12日: 北部市町村圏定例会(議長)
- 14~16日: 9月定例議会(全議員)



▲第39回北部地区畜産共進会

平成27年10月

- 1~2日: 奄美・やんばる広域協議会(議長)
- 10日: 第31回やんばる産業祭り(議長)
- 11日: 西江上区民俗芸能発表会(全議)
- 12~14日: 全国離島議長理事会(議長)
- 20日: 町村議長会監査・定例理事会(議長)
- 21~22日: 町村議長研修会(議長)



▲第41回沖縄県畜産共進会

- 24~26日: 第41回沖縄県畜産共進会(議長・経・公委員)
- 27日: 飲酒運転根絶県民大会(議長)
- 28日: 町村議会議員・事務局職員研修会(全議員)
- 29日: 北部地域における基幹病院整備の実現を求める要請行動(議長)
- 30日: 村政功労者表彰式



▲町村議会議員・事務局職員研修会

平成27年11月

- 2日: 147周年灯台記念日祝賀会(議長)
- 5日: 防火デー式(全議)
- 5日: 全員協議会・常任委員会
- 6日: 海兵隊誕生式典(議長)
- 7日: 伊江村民俗芸能発表会(全議)
- 9~15日: 全国離島議長会・全国町村議長会・北部市町村議長会研修(議長)
- 10~13日: 所管事務調査(経済・公営企業常任委員会)
- 17~20日: 所管事務調査(総務常任委員会)
- 21日: 2015離島フェア
- 22日: 伊江村郷友会運動会



▲伊江村製氷施設落成式

総務常任委員会所管事務調査

研修報告



平成27年11月17日~20日の日程にて、総務常任委員4名、議長(同行)、行政から2名、事務局1名で村の課題の一つである伊江島空港の定期便運航に向けてと、離島の教育、人材育成について調査してまいりました。

天草エアラインの運営状況について、吉村社長や齋木運航統制本部長から説明を受け、引き続き天草空港管理事務所の山口所長、松永管理課長から運行管理の概要説明等を受けた後に質疑等を行いました。伊江島空港の定期便運行に向けての諸問題や課題等を再考する機会となりました。

兵庫県姫路市の家島(いえしま)では、高校生の約半数と教職員が18km離れた本土の姫路港から通勤通学をしており本村でも検討する必要性を感じました。

今回の所管事務調査で学んだ事を今後の議会活動、委員会活動に生かしながら、本村の発展や福祉の向上に努力して行きたいと思います。

11月17日



天草エアライン株式会社が所有する飛行機(39名乗り)

11月18日



天草エアライン株式会社の齋木本部長(左)と吉村社長

11月18日



天草空港管理事務所の山口社長(左)と松永課長

11月19日



家島の現状を熱く語る広野副所長(右)

11月19日



いえしまの前で伊江島のメンバー

11月19日



姫路市議会を表敬訪問